

番号	工事内容
⑥	「受付/診察室 / スタッフステーション等」撤去 ・「受付/陰圧室 / スタッフスペース等」新設
⑦	「除染室」撤去・「倉庫」新設

※廊下(3)(4)の天井仕上げは、土日または夜間工事とする。

別動線を確保することが難しいため、病院と協議の上、工事日を決定すること。また、短工期となる工程をたてること。

搬送機は可能な限り使用可能とすること(休止期間：1週間以内)

(アイソレーション盤)  
※救急2次用 電気設備工事

(アイソレーション盤)  
※救急3次用 電気設備工事

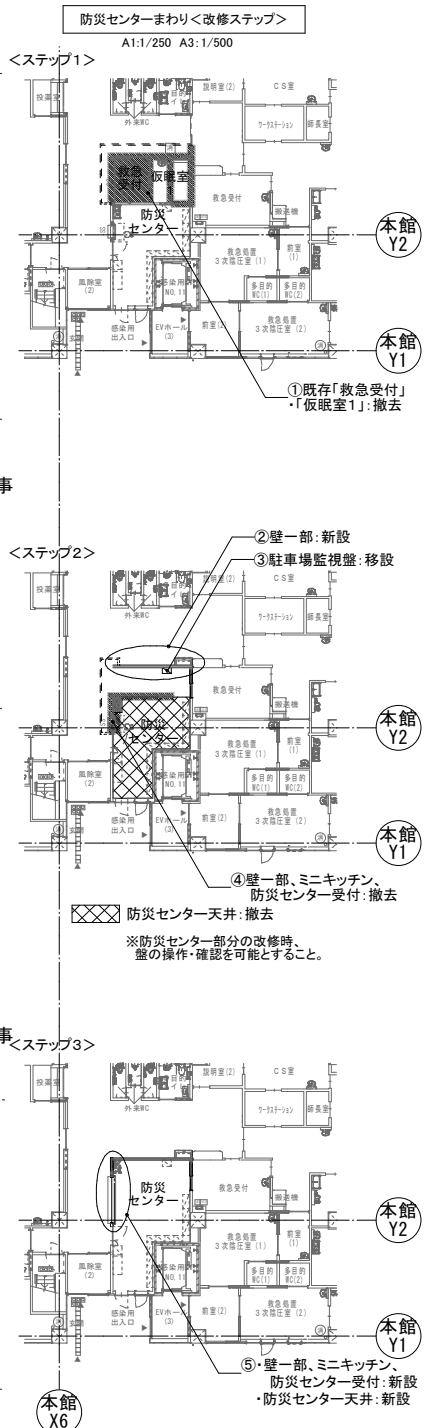
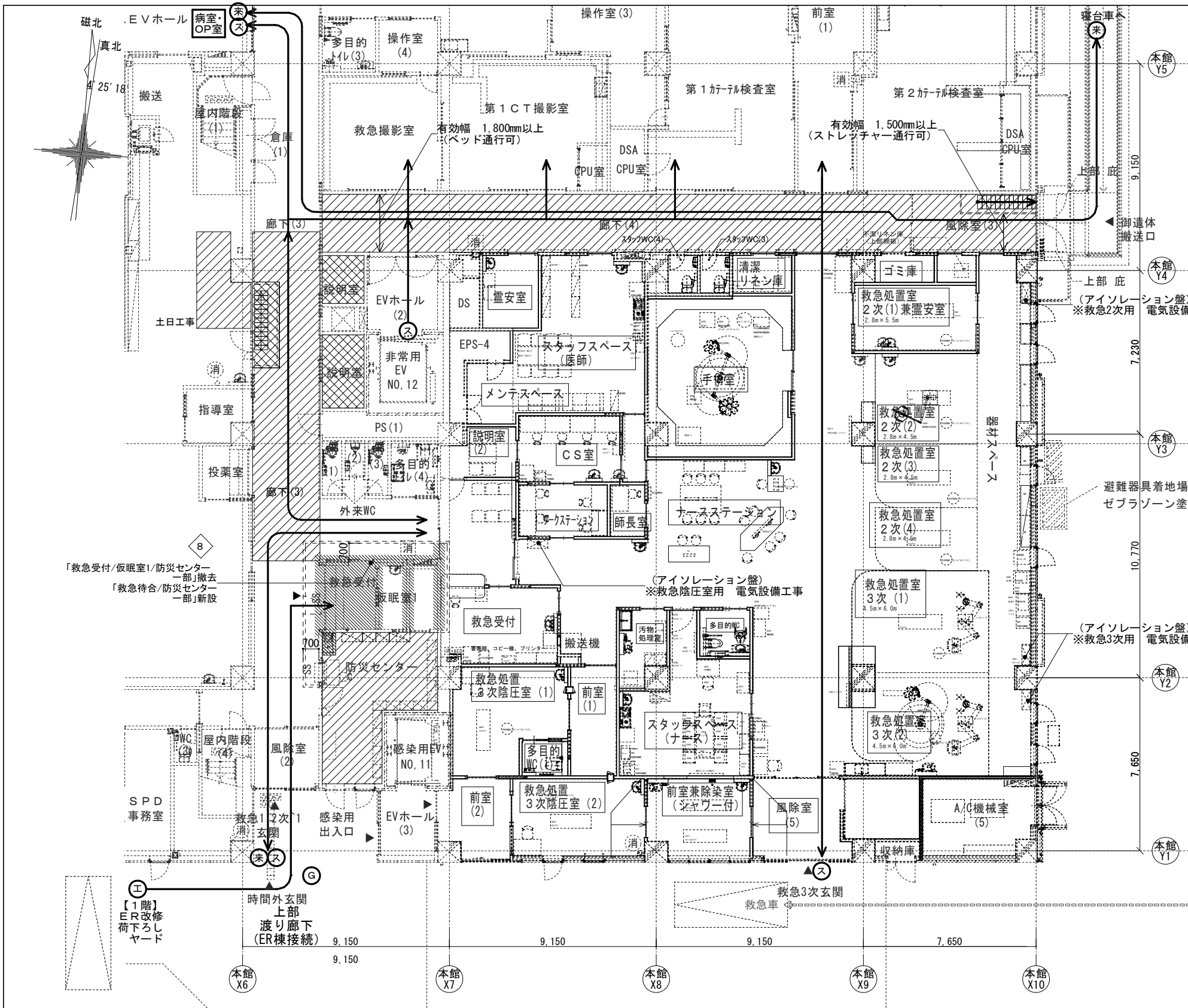
(注意事項)

- 作業時間は 平日8:00~17:00とする。
- 仮囲い：既設仮囲いで第三者の通行及び工事支障があると判断される箇所については監督職員と協議の上撤替等を行うこと。また、仮囲いの撤替・設置に際して、第三者の通行に支障をきたさないように警備員を配置して行うこと。
- 工事範囲(仮囲い内)及び工事作業動線にあたる既設部分には損傷なきよう十分養生等の対策を講ずること。損傷が生じた場合は、現状復旧する事。
- 工事作業時間及び作業区分の詳細については、監督員と協議の上決定とする。
- 工事範囲内で使用する工具類は、静音ドリルを使用する等、音の発生に留意すること。
- 工事中、施設利用者に配慮し、工事により発生する騒音、振動、粉塵等の抑制に努めること。また、塵・埃の発生がないよう集塵機能付工具を使用すること。既設の空気清浄度の高い部屋で作業する場合は、特に注意すること。
- 工事作業動線と第三者動線が交差・近接する場合は、警備員による誘導を行うと共に、安全に配慮すること。及び教育の徹底を要すること。
- 工事作業動線と第三者動線が交差・近接する場合は、警備員による誘導を行うと共に、後行等安全に配慮すること。及び教育の徹底を要すること。
- 改修範囲内の断水や停電作業、音の出る作業は施工計画を、監督員・病院と協議の上、工事すること。
- 図示の改修エリア以外で資材置場が必要な場合は、監督職員・病院と十分協議の上設置すること。
- 内部足場は屋内使用のため、足・埃を落とすとして清掃したものを使用すること。特に、調理や診療を行う室は、衛生面に配慮し、十分に養生すること。
- PCR採取への付孔作業は、静音タイプのコアドリルを用いて施工すること。
- 上記作業時間は、平日16:00~20:00又は、休日のうち施設管理者と相談のうえ、施工を行うこと。
- 工事着手前に出入ルート事前に協議の上、着手すること。
- 廊下(3)・救急待合室側から救急処置室への動線を確保すること。自動ドア等の撤去・新設時、施設を使いながらの工事のため、十分に現場と協議の上、調整を行うこと。
- 2階で心エコー等の音の検査を行っているため、騒音には注意すること。
- 除染室は新設した後に旧除染室を解体し、継続して使用可能とする。

■凡例

図面記号	内容	図面記号	名称
	全面(床・壁・天井)撤去・改修範囲を示す		撤去範囲を示す
	天井撤去範囲を示す		仮設間仕切り
	天井撤去(下部通行可)範囲を示す		仮設扉(H=900、H=1800程度)
※天井撤去範囲の下部を通行可能とするため、一般通行エリアを確保しながら工事エリアを設定すること			
※工事エリア			
	単管足場、鋼製布板、一部足場用階段W400設置		スタッフ動線
※一般通行エリア			
	有効幅=1600(両側居室)、H=2400程度		来院者動線
	仮設天井(経天地下+不燃化組PB t19.5)		工事関係者動線(メイン動線)
	仮設壁・建築内装工事用仮囲い等(LGS下地の上化粧PB t12.5片面張り)		工事関係者動線(サブ動線)
	仮設天井上部は単管足場+鋼製布板最終的には足場解体・天井仕上げを移動しながら施工することになるためガードマ配置等の安全対策と病院との調整を十分に行うこと。		救急車動線

本館棟	階	内容	工期表																										
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27
4階	ICU-ICU、廊下	本館4階①: 仮設計画⑩	→														供用開始												
		本館4階②: 仮設計画⑩	→														供用開始												
	事務室(1)一女子更衣室、男子更衣室拡張 災害倉庫(3)一スタッフ室	本館3階①: STEP(A)	→														供用開始												
		本館3階②: STEP(B)(C)	→														供用開始												
3階	内視鏡センター→外来化学療法室・廊下	本館2階①: 仮設計画⑩	→														供用開始												
	中央処置室、廊下	本館2階②①②: 仮設計画⑩⑪⑫	→														供用開始												
2階	化学療法室・ミキシング室・診察室 細胞処理室(待合)	本館2階③: 仮設計画⑩	→														供用開始												
	化学療法室・ミキシング室・診察室 細胞処理室(待合)	本館2階④: 仮設計画⑩	→														供用開始												
1階	受付・3次救急 調理室、中央倉庫SPD、薬剤室・廊下	本館1階①: 仮設計画①(1-1)(1-2)	→														本館1階②: 仮設計画②	→											
	調理室、中央倉庫SPD、薬剤室・廊下	本館1階③: 仮設計画③	→														本館1階④①②②②: 仮設計画④(1-1)(4-2)	→											
E/F棟	3階	仮設事務室 準備	ER棟3階																										



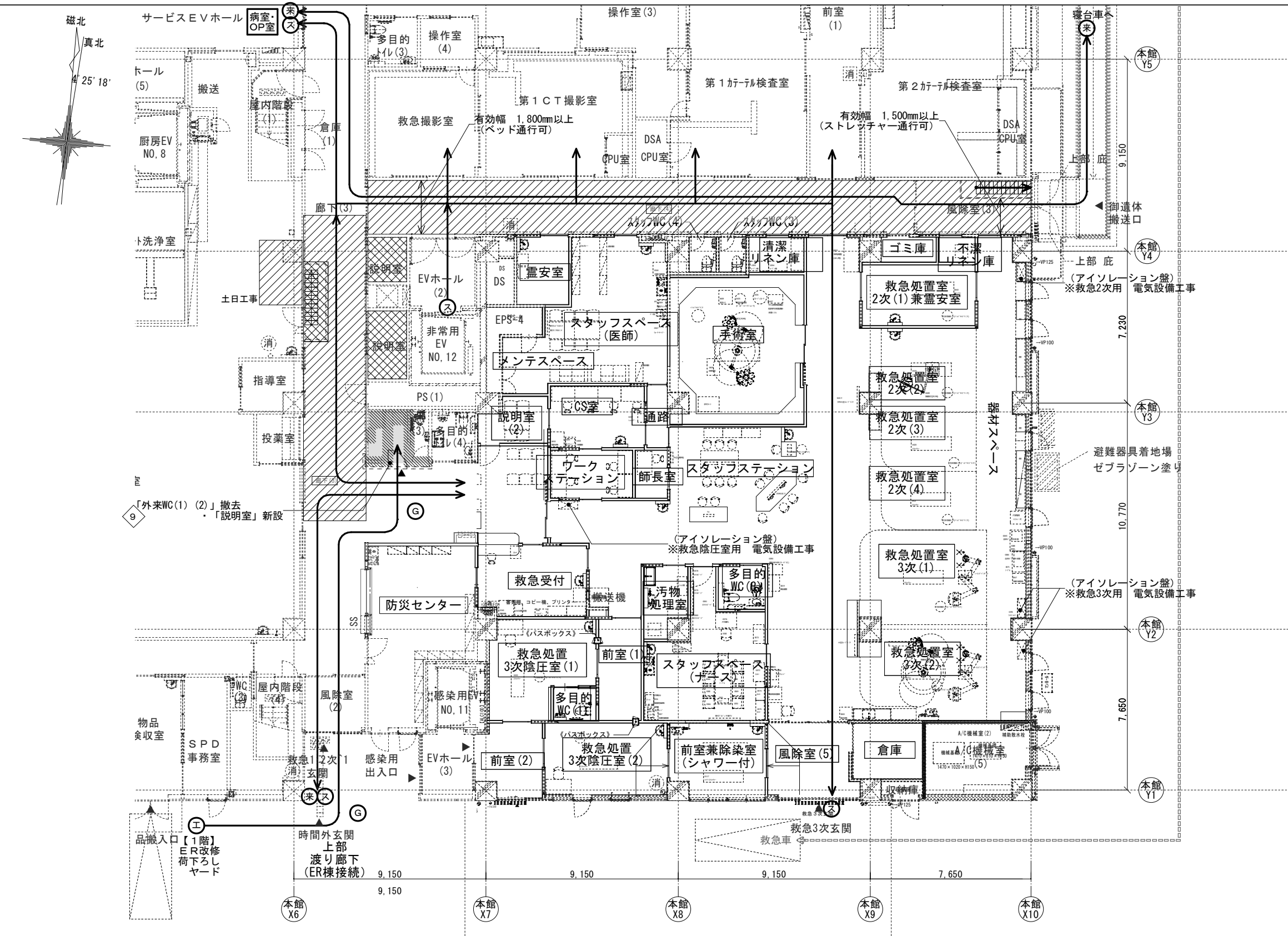
番号	工事内容
⑧	「救急受付/仮眠室/防災センター」一部撤去 「救急待合/防災センター」一部新設

- 【注意事項】
- 作業時間は 平日8:00~17:00とする。
  - 仮囲い: 既設仮囲いで第三者の通行及び工事に支障があると判断される箇所については監督職員と協議の上撤去等を行うこと。また、仮囲いの撤去・設置に際して、第三者の通行に支障をきたさないように警備員を配置して行うこと。
  - 工事範囲(仮囲い内)及び工事作業動線にある既設部分では損傷なきよう十分養生等の対策を講ずること。損傷が生じた場合は、現況復旧する事。
  - 工事作業時間及び作業区分の詳細については、監督員と協議の上決定とする。
  - 工事範囲内で使用する工具類は、静音ドリルを使用する等、音の発生に留意すること。
  - 工事中、施設利用者に配慮し、工事により発生する騒音、振動、粉塵等の抑制に努めること。また、塵・埃の発生がないよう集塵機能付工具を使用すること。既設の空気清浄度の高い部屋で作業する場合は、特に注意すること。
  - 工事作業動線と第三者動線が交差・近接する場合は、警備員による誘導を行うと共に、安全に配慮すること。及び教育の徹底を要すること。
  - 工事作業動線と第三者動線が交差・近接する場合は、警備員による誘導を行うと共に、後行等安全に配慮すること。及び教育の徹底を要すること。
  - 改修範囲内の断水や停電作業、音の出る作業は施工計画を、監督員・病院と協議の上、工事すること。
  - 図示の改修エリア以外で資材置場が必要な場合は、監督職員・病院と十分協議の上設置すること。
  - 内部足場は屋内使用のため、足・埃を落とすとして清掃したものを使用すること。特に、調理や診療を行う室は、衛生面に配慮し、十分に養生すること。
  - PC床版への穿孔作業は、静音タイプのコアドリルを用いて施工すること。
  - 上記作業時間は、平日16:00~20:00又は、休日のうち施設管理者と相談のうえ、施工を行うこと。
  - 工事着手前に搬入ルートを事前に協議の上、着手すること。
  - 廊下(3)・救急待合室側から救急処置室への動線を確保すること。自動ドア等の撤去・新設時、施設を使いながらの工事のため、十分に現場と協議の上、調整を行うこと。
  - 2階で心エコー等の音の検査を行っているため、騒音には注意すること。
  - 除染室は新設した後に旧除染室を解体し、継続して使用可能とすること。

■凡例

図面記号	内容	図面記号	名称
■	全面(床・壁・天井)撤去・改修範囲を示す	▨	撤去範囲を示す
▨	天井撤去範囲を示す	----	仮設間仕切り
▨	天井撤去(下部通行可)範囲を示す	▽	仮設扉(W=900、H=1800程度)
▽	※天井撤去範囲の下部を通行可能とするため、一般通行エリアを確保しながら工事エリアを設定すること	⊙	交通誘導員位置
⊙	※工事エリア	⊠	天井点検口600角(新設)
⊠	※単管足場、鋼製布板、一部足場用階段W400設置	→	スタッフ動線
→	※一般通行エリア	→	来院者動線
→	有効幅1600(両側居室)、H=2400程度	→	工事関係者動線(メイン動線)
→	仮設天井(経天地下部+不燃化箱PB t19.5)	→	工事関係者動線(サブ動線)
→	仮設壁・建築内装工事用仮囲い等(LGS下地の化粧PB t12.5片面張り)	→	工事関係者動線(サブ動線)
→	仮設天井上部は単管足場+鋼製布板	→	救急車動線
→	最終的には足場解体・天井仕上を移動しながら施工することになるためガードマ配置等の安全対策と病院との調整を十分に行うこと。		

本館棟	階	内容	工期表																										
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27
4階	ICU-ICU、廊下	本館4階①: 仮設計画⑨	供用開始														本館4階②: 仮設計画⑩												供用開始
		ICU-HCU、廊下	本館3階①: 仮設計画⑧-1 STEP(A)														本館3階②: 仮設計画⑧-2: STEP(B),(C)												供用開始
3階	事務室(1)一女子更衣室、男子更衣室拡張 災害倉庫(3)一スタッフ室	本館2階①: 仮設計画⑥	供用開始														本館2階②/1,2: 仮設計画⑦-1												供用開始
		内視鏡センター外来化学療法室・廊下	本館2階③/1,2: 仮設計画⑦-2														本館2階④/1,2,2/2: 仮設計画⑦-3												供用開始
2階	中央処置室、廊下	本館1階①: 仮設計画①(1)-(2)	本館1階②: 仮設計画②														本館1階③: 仮設計画③												供用開始
		化学療法室・ミネラル室・診察室 細胞処理室一待合(7)	本館1階④/1,2,2/2: 仮設計画④(1)-(4)														本館1階⑤/1,2,2/2: 仮設計画⑤(1)-(5-2)												供用開始
1階	2次・3次救急 調理室、中央倉庫SPD、薬剤室・廊下	ER階3階	ER階3階																										
		ER階3階	ER階3階																										
E/R棟	3階	仮設事務室 準備	ER階3階																										
		仮設事務室 準備	ER階3階																										



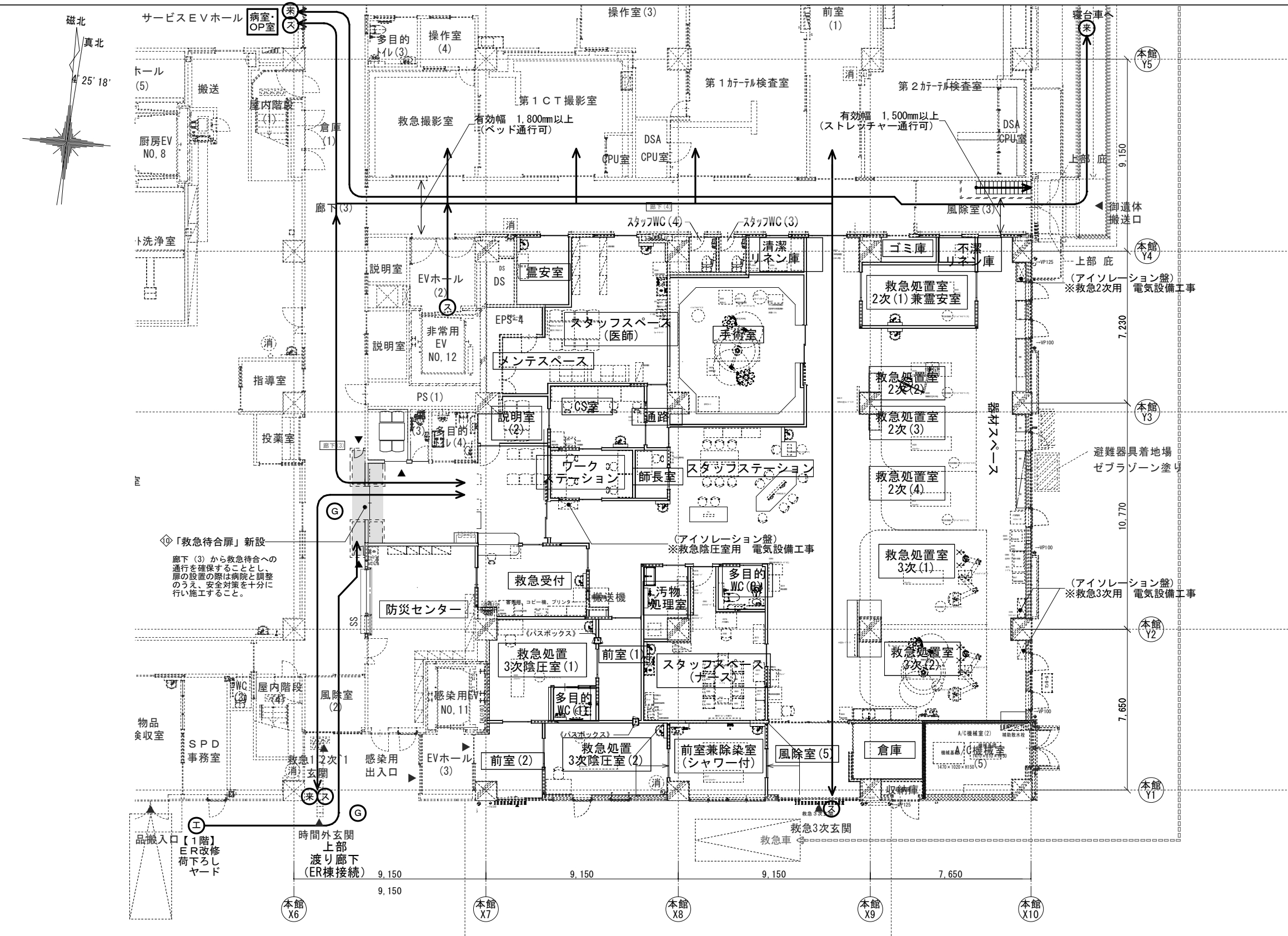
番号	工事内容
9	「外来WC(1)(2)」撤去 ・「説明室・救急待合」新設

- 【注意事項】
- 作業時間は 平日8:00~17:00とする。
  - 仮囲い：既設仮囲いで第三者の通行及び工事支障があると判断される箇所については監督職員と協議の上撤替等を行うこと。また、仮囲いの撤替・設置に際して、第三者の通行に支障をきたさないよう警備員を配置して行うこと。
  - 工事範囲(仮囲い内)及び工事作業動線に於ける既設部分には損傷なきよう十分養生等の対策を講ずること。損傷が生じた場合は、現況復旧する事。
  - 工事作業時間及び作業区分の詳細については、監督職員と協議の上決定すること。
  - 工事範囲内で使用する工具類は、静音ドリルを使用する等、音の発生に留意すること。
  - 工事中、施設利用者に配慮し、工事により発生する騒音、振動、粉塵等の抑制に努めること。また、塵・埃の発生がないよう集塵機能付工具を使用すること。既設の空気清浄度の高い部屋で作業する場合は、特に注意すること。
  - 工事作業動線と第三者動線が交差・近接する場合は、警備員による誘導を行うと共に、安全に配慮すること。及び教育の徹底を要すること。
  - 工事作業動線と第三者動線が交差・近接する場合は、警備員による誘導を行うと共に、後行等安全に配慮すること。及び教育の徹底を要すること。
  - 改修範囲内の断水や停電作業、音の出る作業は施工計画を、監督員・病院と協議の上、工事すること。
  - 図示の改修エリア以外で資材置場が必要な場合は、監督職員・病院と十分協議の上設置すること。
  - 内部足場は屋内使用のため、足・埃を落とすとして清掃したものを使用すること。特に、調理や診療を行う室は、衛生面に配慮し、十分に養生すること。
  - PC床版への穿孔作業は、静音タイプのコアドリルを用いて施工すること。
  - 上記作業時間は、平日16:00~20:00又は、休日のうち施設管理者と相談のうえ、施工を行うこと。
  - 工事着手前に搬出入ルートを事前に協議の上、着手すること。
  - 廊下(3)・救急待合室側から救急処置室への動線を確保すること。自動ドア等の撤去・新設時、施設を使いながらの工事のため、十分に現場と協議の上、調整を行うこと。
  - 2階で心エコー等の音の検査を行っているため、騒音には注意すること。
  - 除染室は新設した後に旧除染室を解体し、継続して使用可能とする。

■凡例

図面記号	内容	図面記号	名称
	全面(床・壁・天井)撤去・改修範囲を示す		撤去範囲を示す
	天井撤去範囲を示す		仮設間仕切り
	天井撤去(下部通行可)範囲を示す		仮設扉(W=900、H=1800程度)
※天井撤去範囲の下部を通行可能とするため、一般通行エリアを確保しながら工事エリアを設定すること			
※工事エリア			
	単管足場、鋼製布板、一部足場用階段W400設置		スタッフ動線
※一般通行エリア			
	有効幅=1600(両側留室)、H=2400程度		来院者動線
	仮設天井(経天地下+不燃化箱PB t9.5)		工事関係者動線(メイン動線)
	仮設壁・建築内装工事仮囲い等(LGS下地の上化粧PB t12.5片面張り)		工事関係者動線(サブ動線)
	仮設天井上部は単管足場+鋼製布板最終的には足場解体・天井仕上を移動しながら施工することになるためガードマ配置等の安全対策と病院との調整を十分に行うこと。		救急車動線

本館階	内容	工期表																										
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27
4階	HCU-ICU、廊下	本館4階①: 仮設計画⑨														供用開始												
4階	ICU-HCU、廊下	本館4階②: 仮設計画⑩														供用開始												
3階	事務室	本館3階①: STEP(A)														供用開始												
3階	会議室(1)・女子更衣室、男子更衣室拡張 災害倉庫(3)・スタッフ室	本館3階②: STEP(B)(C)														供用開始												
3階	内視鏡センター・外来化学療法室・廊下	本館3階③: 仮設計画⑥														供用開始												
2階	中央処置室、廊下	本館2階①/2: 仮設計画⑦														供用開始												
2階	化学療法室・ミキシング室・診察室 細胞処理室・待合(7)	本館2階②/2: 仮設計画⑦														供用開始												
1階	2次・3次救急 調理室、中央倉庫SPD、薬剤室・廊下	本館1階①: 仮設計画①(1)-(2)														本館1階②: 仮設計画②												
1階		本館1階③: 仮設計画③														本館1階④/2: 2/2 仮設計画④(1)-(4)												
1階		本館1階⑤/2: 2/2 仮設計画⑤(1)-(5)														本館1階⑥/2: 2/2 仮設計画⑥(1)-(6)												
ER棟	仮設事務室 準備	ER棟3階																										



番号	工事内容
E10	「救急待合扉」新設

◆「救急待合扉」新設  
廊下(3)から救急待合への通行を確保することとし、扉の設置の際は病院と調整のうえ、安全対策を十分に施工すること。

(アイソレーション盤) ※救急3次用 電気設備工事

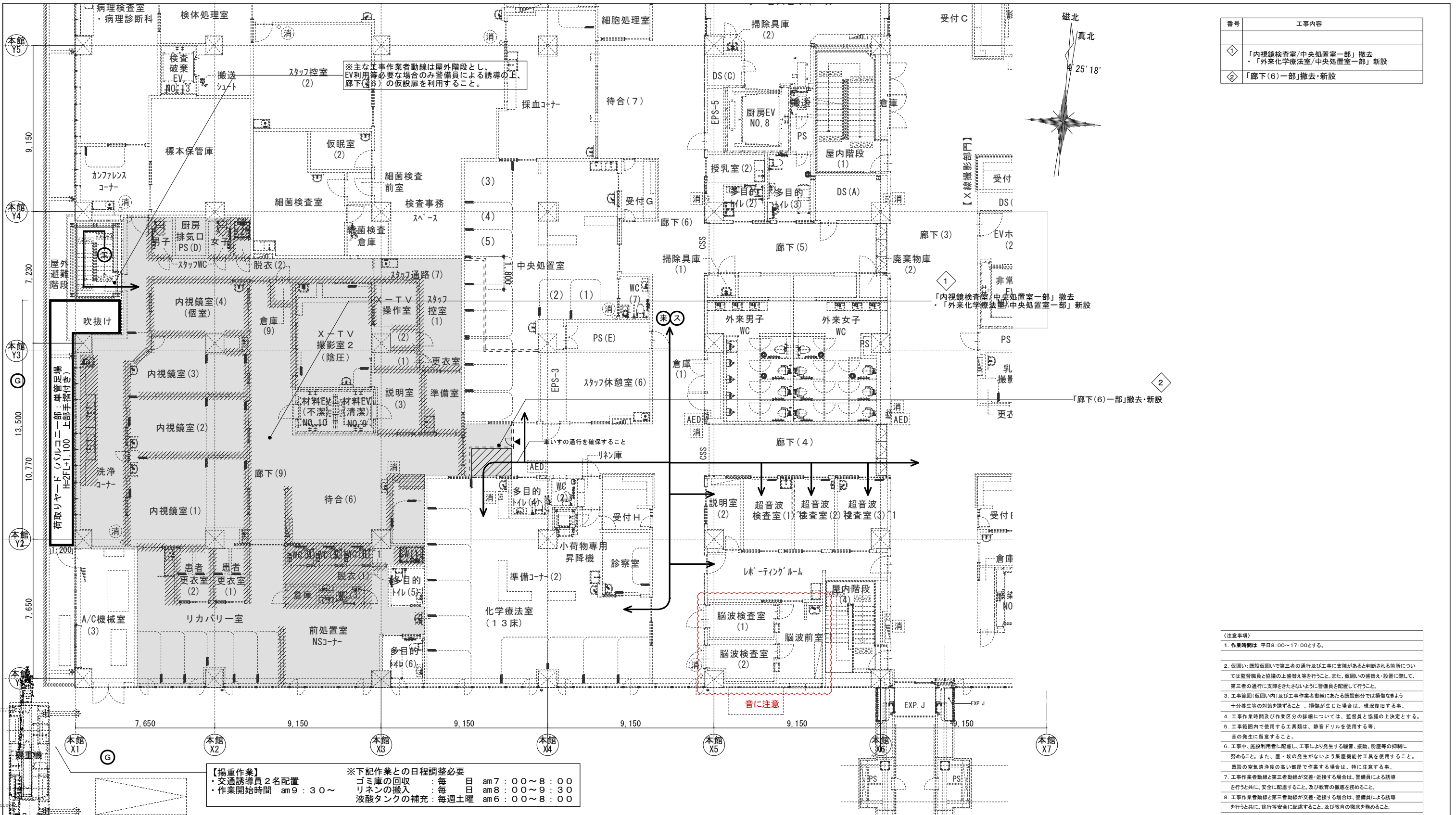
(アイソレーション盤) ※救急3次用 電気設備工事

- (注意事項)
- 作業時間は 平日8:00~17:00とする。
  - 仮囲い: 既設仮囲いで第三者の通行及び工事に支障があると判断される箇所については監督職員と協議の上撤替等を行うこと。また、仮囲いの撤替・設置に際して、第三者の通行に支障をきたさないよう監督職員を配置して行うこと。
  - 工事範囲(仮囲い内)及び工事作業動線にある既設部分には損傷なきよう十分養生等の対策を講ずること。損傷が生じた場合は、現況復旧する事。
  - 工事作業時間及び作業区分の詳細については、監督職員と協議の上決定すること。
  - 工事範囲内で使用する工具類は、静音ドリルを使用する等、音の発生に留意すること。
  - 工事中、施設利用者に配慮し、工事に発生する騒音、振動、粉塵等の抑制に努めること。また、塵・埃の発生がないよう集塵機能付工具を使用すること。既設の空気清浄度の高い部屋で作業する場合は、特に注意すること。
  - 工事作業動線と第三者動線が交差・近接する場合は、監督職員による誘導を行うと共に、安全に配慮すること。及び教育の徹底を要すること。
  - 工事作業動線と第三者動線が交差・近接する場合は、監督職員による誘導を行うと共に、後行等安全に配慮すること。及び教育の徹底を要すること。
  - 改修範囲内の断水や停電作業、音の出る作業は施工計画を、監督職員・病院と協議の上、工事すること。
  - 図示の改修エリア以外で資材置場が必要な場合は、監督職員・病院と十分協議の上設置すること。
  - 内部足場は屋内使用のため、足・埃を落とすとして清掃したものを使用すること。特に、調理や診療を行う室は、衛生面に配慮し、十分に養生すること。
  - PC床版への穿孔作業は、静音タイプのコアドリルを用いて施工すること。
  - 上記作業時間は、平日16:00~20:00又は、休日のうち施設管理者と相談のうえ、施工を行うこと。
  - 工事着手前に搬出入ルートを事前に協議の上、着手すること。
  - 廊下(3)・救急待合室側から救急処置室への動線を確保すること。自動ドア等の撤去・新設時、施設を使いながらの工事のため、十分に現場と協議の上、調整を行うこと。
  - 2階で心エコー等の音の検査を行っているため、騒音には注意すること。
  - 除染室は新設した後に旧除染室を解体し、継続して使用可能とする。

■凡例

図面記号	内容	図面記号	名称
■	全面(床・天井)撤去・改修範囲を示す	■	撤去範囲を示す
▨	天井撤去範囲を示す	----	仮設間仕切り
▨	天井撤去(下部通行可)範囲を示す	▽	仮設扉 (W=900、H=1800程度)
▽	※天井撤去範囲の下部を通行可能とするため、一般通行エリアを確保しながら工事エリアを設定すること	⓪	交通誘導員位置
⓪	※工事エリア	⓪	天井点検口600角(新設)
⓪	※単管足場、鋼製布板、一部足場用階段W400設置	⓪	スタッフ動線
⓪	※一般通行エリア	⓪	来院者動線
⓪	・有効幅=1600(両側留室)、H=2400程度	⓪	工事関係者動線(メイン動線)
⓪	・仮設天井(経天地下部+不燃化箱PB t19.5)	⓪	工事関係者動線(サブ動線)
⓪	・仮設壁・建築内装工事仮囲い等(LGS下地の上化粧PB t12.5片面張り)	⓪	救急車動線
⓪	・仮設天井上部は単管足場+鋼製布板		
⓪	・最終的には足場解体・天井仕上を移動しながら施工することになるためガードマ配置等の安全対策と病院との調整を十分にすること。		

本館階	内容	工期表																										
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27
4階	HCU-ICU、廊下	本館4階①: 仮設計画①(9)														供用開始												
4階	ICU-HCU、廊下	本館4階②: 仮設計画②(10)														供用開始												
3階	事務室	本館3階①: 仮設計画①(8)														供用開始												
3階	会議室(1)・女子更衣室、男子更衣室拡張 災害倉庫(3)・スタッフ室	本館3階②: 仮設計画②(9)														供用開始												
3階	内視鏡センター外来化学療法室・廊下	本館3階③: 仮設計画③(10)														供用開始												
2階	中央処置室、廊下	本館2階①: 仮設計画①(7)														供用開始												
2階	化学療法室・ミキシング室・診察室 細胞処理室・待合(7)	本館2階②: 仮設計画②(7)														供用開始												
1階	夜次・3次救急 調理室、中央倉庫SPD、薬剤室・廊下	本館1階①: 仮設計画①(1)-(2)														本館1階②: 仮設計画②(2)												
1階		本館1階③: 仮設計画③(3)														本館1階④: 仮設計画④(4)-(4)												
E10	仮設事務室 準備	ER棟3階																										



番号	工事内容
①	「内視鏡検査室/中央処置室一部」撤去 ・「外来化学療法室/中央処置室一部」新設
②	「廊下(6)一部」撤去・新設

【揚重作業】  
 ・交通誘導員 2名配置  
 ・作業開始時間 am 9:30~

※下記作業との日程調整必要  
 ゴミ庫の回収：毎日 am 7:00~8:00  
 リネンの搬入：毎日 am 8:00~9:30  
 液酸タンクの補充：毎週土曜 am 6:00~8:00

- 【注意事項】
- 作業時間は 平日8:00~17:00とする。
  - 仮囲い：既設仮囲いで第三者の通行及び工事と支障があると判断される箇所については監督職員と協議の上撤去等を行うこと。また、仮囲いの撤去・設置に際して、第三者の通行に支障をきたさないように警備員を配置して行うこと。
  - 工事範囲(仮囲い内)及び工事作業動線にあたる既設部分は損傷なきよう十分養生等の対策を講ずること。損傷が生じた場合は、現況復旧する事。
  - 工事作業時間及び作業区分の詳細については、監督職員と協議の上決定とする。
  - 工事範囲内で使用する工具類は、静音ドリルを使用する等、音の発生に留意すること。
  - 工事中、施設利用者に配慮し、工事により発生する騒音、振動、粉塵等の抑制に努めること。また、塵・埃の発生がないよう集塵機能付工具を使用すること。既設の空気清浄度の高い部屋で作業する場合は、特に注意する事。
  - 工事作業動線と第三者動線が交差・近接する場合は、警備員による誘導を行うと共に、安全に配慮すること。及び教育の徹底を要すること。
  - 工事作業動線と第三者動線が交差・近接する場合は、警備員による誘導を行うと共に、徐行等安全に配慮すること。及び教育の徹底を要すること。
  - 改修範囲内の断水や停電作業、音の出る作業は施工計画を、監督員・病院と協議の上、工事すること。
  - 図示の改修エリア以外で資材置場が必要な場合は、監督職員・病院と十分協議の上設置すること。
  - 内部足場は屋内使用のため、足・埃を落とすとして清掃したものを使用すること。
  - 特に、調理や診療を行う室は、衛生面に配慮し、十分に養生すること。
  - PC床版への射孔作業は、静音タイプのコアドリルを用いて施工すること。
  - 上記作業時間は、平日16:00~20:00又は、休日のうち施設管理者と相談のうえ、施工を行うこと。
  - 工事着手前に出入ルートを事前に協議の上、着手すること。
  - 化学療法室の既存ベッド数13床は常時確保する施工計画とすること。
  - 中央処置室の既存ベッド数11床は常時確保する施工計画とすること。
  - 2階で心エコー等の音の検査を行っているため、騒音には注意すること。
  - 脳波検査室があるため音には注意すること。

図面記号	内容	図面記号	名称
■	全面(床・壁・天井)撤去・改修範囲を示す	■	撤去範囲を示す
■	天井撤去範囲を示す	====	仮設間仕切り
■	天井撤去(下部通行可)範囲を示す	▽	仮設扉(W-900、H-1800程度)
▼	※天井撤去範囲の下部を通行可能とするため、一般通行エリアを確保しながら工事エリアを設定すること	⓪	交通誘導員位置
⓪	※工事エリア	⓪	天井点検口600角(新設)
⓪	※単管足場、鋼製布板、一部足場用階段W400設置	→	スタッフ動線
⓪	※一般通行エリア	→	来院者動線
⓪	・有効厚=1600(両側居室)、H=2400程度	→	工事関係者動線(メイン動線)
⓪	・仮設天井(経天地下部+不燃化箱PB 19.5)	→	工事関係者動線(サブ動線)
⓪	・仮設壁・建築内装工事用仮囲い等(LGS下地の化粧PB t12.5片面張り)	→	救急車動線
⓪	・仮設天井上部は単管足場+鋼製布板		
⓪	・最終的には足場解体・天井仕上を移動しながら施工することになるため、ロードマシンの安全対策と病院との調整を十分に行うこと。		

本館階	内容	工期表																										
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27
4階	HCU-ICU、廊下	本館4階①:仮設計画⑨											供用開始															
4階	ICU-HCU、廊下	本館4階②:仮設計画⑩											供用開始															
3階	事務室	本館3階①:仮設計画⑧-1 STEP(A)											本館3階②:仮設計画⑧-2 STEP(B)(C)															
3階	会議室(1)~女子更衣室、男子更衣室拡張 災害倉庫(3)~スタッフ室	本館3階③:仮設計画⑧-3 STEP(D)(E)											供用開始															
3階	内視鏡センター~外来化学療法室・廊下	本館3階④:仮設計画⑨											供用開始															
2階	中央処置室、廊下	本館2階①,②:仮設計画⑦-①,②											供用開始															
2階	化学療法室~ミキシング室・診察室 細胞処理室~待合(7)	本館2階③,④:仮設計画⑦-③,④											本館2階⑤,⑥:仮設計画⑦-⑤,⑥															
1階	化学療法室	本館1階①:仮設計画①(1)-(2)											本館1階②:仮設計画②															
1階	調理室、中央倉庫SPD、薬剤室・廊下	本館1階③:仮設計画③											本館1階④,⑤:仮設計画④(1)-(4)															
E階	仮設事務室 準備	ER階③開																										